



さくら

2014年11月号

発行：偕行会透析医療事業部 さくら編集委員会

～カイコウカイクリニックスナヤンについて～

PT Kaikoukai Indonesia 副社長 川原岳志

インドネシアってどんな国？

インドネシアは日本から飛行機で7時間離れた東南アジアにあります。人口は約2億4,000万人と世界で4番目に多い国で、17,500もの島々から成り立っており、世界で一番イスラム教徒が多い国です。今世界ではイスラム教の過激派がいろいろな問題を起こしておりますが、インドネシアのイスラム教徒は比較的温和ですので、特に問題はありません。貧富の格差が非常に大きいことも特徴で、運転手付の最高級車に乗っているお金持ちの横を小学生にも満たない子供が道で水やお菓子を売っています。

ただし、人口の平均年齢が30歳と非常に若く経済も非常に好調なので、色々な国の企業がインドネシアに進出しており、今後中流階級が増えると予想されています。

なぜインドネシアにクリニックを開院したのか？

偕行会はインドネシアで日本の医療法人として初めての日系クリニック、KAIKOUKAI CLINIC SENAYAN(カイコウカイ クリニック スナヤン)を今年6月に開院いたしました。

インドネシアは前記したように多くの人口がいますが、医師の数が9万人と非常に少ないです。日本は1億2,000万人の人口で医師の数が約30万人いるのに比べても数が少ないことがお分かりいただけだと思います。医療の質も良くありません。



また、インドネシアには日系企業もたくさん進出しており、現在 14,000 人の駐在日本人がいます。偕行会はインドネシアの医療の質を上げること共に、14,000 人いる駐在日本人の方が安心して受けられる医療体制を構築していくことを目標としています。

インドネシアのクリニックではどんなことをしているのか？

現在 当院 (KAIKOUKAI CLINIC SENAYAN) では、日本人の患者さんを対象に総合内科診療・小児科診療を行っています。営業時間は8:00から22:00と お仕事帰りの方も来院できる時間になっています。

駐在日本人の方はご家族が帯同で来られていますので、お子さんの病気も多いです。

南国特有の病気もたくさんあり、日本でも話題になったデング熱や腸チフスといった病気もインドネシアでは珍しい病気ではありません。当院では他のクリニックよりも急性疾患を早く見つけることが重要だと考えています。

また日本人の皆さんが困っていることを今後当院では提供していこうと考えています。その1つがメンタル面でのフォローアップです。やはり慣れない、それも外国で仕事をされているとメンタル面で病気になってしまう方もいます。

我々は日本の心理カウンセラーと提携をして、メンタルケアが必要な患者さんへテレビ電話を通じてカウンセリングができるようなシステムを構築していく予定です。

また、インドネシアには多くの糖尿病患者さんがいます。2030 年までには糖尿病と診断された、または未診断ではあるが糖尿病である人が 2,000 万人を超えと言われています。

ただし、日本の糖尿病治療に比べてまだまだ医療の質は低いのが現状です。偕行会グループの患者さんは足の血行を良くする炭酸泉治療はよくご存じだと思いますが、インドネシアには炭酸泉治療を行える医療機関はありません。このように糖尿病だけではなく、日本で培った医療ノウハウをインドネシアに移譲してインドネシアの医療の質を向上させることを目指して日々頑張っています。

日本式医療の提供を目指して

現在当院では、医師、薬剤師、看護師、放射線技師、臨床検査技師の医療従事者が働いています。日本人医師も1人駐在していますが、残念ながらインドネシアではインドネシアの医師免許しか認められていないので、診療行為はできません。

日本人医師の役割はインドネシア人医師の教育です。

1日に一度症例検討会を実施したり、日々の診療のサポートをしています。

また、日本人看護師や日本人放射線技師も日本からインドネシアに来て日々医療技術の向上のために教育を行っています。



看護師に関しては EPA (Economic Partnership Agreement) と言って日本とインドネシアの間に経済や人材交流を促進する制度によって、日本で3年間看護助手として仕事をした看護師を採用しております。今後も日本に教育のために来日する機会もあるかと思しますので、その際はよろしくお願いいたします。

インドネシアにおける今後の展開

今後借行会は透析分野にも日本式医療を提供していくために準備をしています。現在インドネシアでは週2回、5時間透析が一般的になっています。ダイアライザーはリユース(再使用)であり合併症対策もあまり進んでいません。また、インドネシアは日本と比べて水が良くありませんので、水質管理を徹底していく必要があります。

借行会グループは日本でも大変優れた透析医療を提供しています。インドネシアの透析患者さんにも日本と同じ透析医療を提供していくために、努力していきます。

